

harmony

— 岩手県立中部病院 地域連携便り VOI. 7 —

— ごあいさつ —

副院長兼医療連携部長 すずき よしあき
鈴木 善明



11月16日に衆議院解散、12月4日公示、12月16日衆議院議員総選挙、あっという間に自民党が民主党に大勝して終わってしまいました。

今回は中部医療圏域看護専門研修会アンケート集計結果、小児科開放病床、中部地域県立病院運営協議会などの記事を掲載しました。

地域医療支援病院の要件の一つでもある地域医療支援委員会を12月18日に花巻市医師会、北上医師会、中部保健所の方々に出席いただき開催しました。議事として要件に対する達成状況報告と、共同利用の中での開放病床の運用を今後小児科医院の先生方と協議する予定などが報告されました。

今年8月に実施した中部病院地域医療福祉連携室に関するアンケートには、多くの回答を頂き有り難うございました。当院の地域連携はまずまずの評価を頂いたと思いますが、多くのご意見やアドバイスも頂きました。当院紹介後、院内他科紹介となってその後の状況が分からない。逆紹介がない場合の退院後の状況が分からないなどのご意見に対して、地域医療福祉連携室でも改善を検討しております。すべてのご意見やご提案に満足できる結果は出せないと思いますが、近づけるように努力したいと思っております。

今後も「harmony」を定期発行して中部病院の方針や現在の取り組みなどをアナウンスして行く予定です。

12月に入り寒い日や雪の日が多くなってまいりました。お身体を大切になさってください。今年1年有り難うございました。来年もよろしくお願いいたします。



『そ〜らぁ通信』は「太陽」・「エコ」・「青空」、そして「元気のいい掛け声」と、たくさんの意味がこめられた院長通信の名前です。

北村院長は山歩きが大好き。このコーナーでは、北村院長が山で出逢った花々を紹介いたします。



ヒメイチゲ

「小人の国の花のようです」

6月の薬師岳で見つけました。日陰を好み孤独に咲く小さな花です。

写真はアップに撮られておりますが、本当に小さく、誰かに見つけてもらうのを待っているような、可憐な清楚な花です。初めて出会った時の感動は今も胸に残っています。薬師岳は前回も紹介しましたが、有名な早池峰の向かいにあります。今の時期には真っ白に對をなしてすぐ認められます。白い花が多い印象です。

平成24年度 中部医療圏看護専門研修会アンケート集計結果

今年度の中部圏域公開研修が終了しました。沢山の方に参加して頂き、ありがとうございました。各研修会の参加人数とアンケートの結果をまとめましたので、お知らせ致します。

【各研修の参加人数】

研修名	研修内容	院外参加者数	計
皮膚創傷管理研修	①基本的なスキンケア方法について	25	52
	②被覆材と軟膏の選択方法について	20	
	③瘻孔管理について	7	
がん化学療法看護研修	がん化学療法①「がん化学療法の基礎知識」	6	13
	がん化学療法②「副作用・チーム医療」	7	
がん看護 リンパ浮腫ケア研修	①リンパ浮腫の基礎知識	15	43
	②リンパ浮腫ケアの実際	28	
がん看護 緩和ケア研修	①症状マネジメント「癌性疼痛」	10	51
	②症状マネジメント「呼吸器症状」	15	
	③症状マネジメント「消化器症状」	12	
	④緩和ケア「精神的ケアについて」	14	
摂食・嚥下障害看護研修	食事介助の基本についての講義・実技	24	24

●参加者職種別内訳●

医師 4
 看護師 147
 ケアマネージャー 7
 リハビリ(OT・PT・ST) 10
 その他 13
 (薬剤師・臨床検査技師・
 栄養士・調理師・
 歯科衛生士・介護職等)

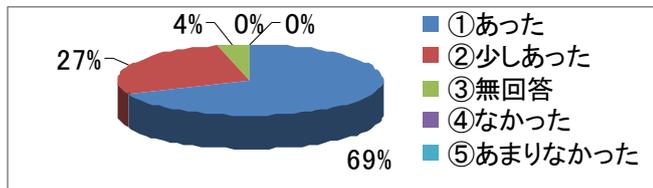
院外からの参加者総数

183名

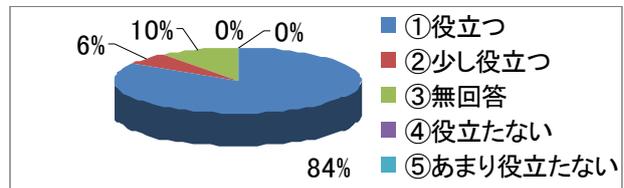


【アンケートの回答】(全研修の集計 サンプル数 146)

設問1. 何か新しい発見がありましたか？



設問2. 今後役に立つと思いますか？



アンケートのご協力ありがとうございました。自由記載の中に「今後もこのような研修会を開催してもらいたい」という意見が多くありました。アンケートで頂いた貴重なご意見は、次年度の研修計画の参考にさせていただきます。

平成24年度

岩手中部地域県立病院運営協議会

開催報告

去る12月19日(水)に北上市内で岩手中部地域県立病院運営協議会を開催いたしました。本協議会を開催したのは4年ぶりで、中部病院へ統合移転後初めての開催となります。

22名の委員の方々にご出席を頂き、中部地域の県立病院(中部病院、遠野病院、東和病院、大迫地域診療センター)の運営について活発な質疑が取り交わされ、多くの貴重なご意見を頂戴いたしました。待ち時間短縮など従来からの課題に関するご意見も頂きましたが、各病院の頑張り

を評価するご意見を多く頂戴いたしました。

協議会で頂いたご意見等は、各病院の今後の運営に反映するよう努めて参りますので、今後とも県立病院の運営に対しまして、ご支援・ご協力をお願いいたします。



INFORMATION -ご案内-



当院では平成 25 年 3 月を目途に、開放病床を開始いたします。

開放病床とは、かかりつけ医の先生が患者さんに対し入院加療が必要と判断したときに当院のベッドを使用して診療ができる制度です。当院の医師とかかりつけ医の先生との 2 人の主治医が共同して診察にあたります。

開放病床数は 5 床とし、当面は小児科のみの運用といたしますが、体制が整い次第、他科にも広めていく予定としております。

開放病床の利用には事前の登録が必要となりますが、平成 22 年 4 月に登録を行って頂いた医療機関では再度の登録は不要です。

開放病床の運用方法など、詳しくは当院地域医療福祉連携室にお問い合わせください。

開放病床開始 開放病床開始

当院における血管関連疾患への対応

外科医長 はまだ よう
濱田 庸

今年度より中部病院外科に配属になりました外科医長の濱田と申します。専門領域は末梢血管（心臓、胸部大動脈以下の血管）外科です。現在当院には、この分野を専門とする先輩が 2 名（高田秀司医師、山下洋医師）いらっしゃり、経験豊富な先生方の元で日々研鑽を積ませて頂いている毎日であります。

当院院長より、県立病院の中で末梢血管外科を専門とする医師が 3 名いるのは珍しいと伺っております。高齢化社会が加速する地域社会に於いて我々の需要はますます高まっていくと考えております。と同時にその責務を全うする重圧も感じております。

諸先生がたの日常診療におかれましても、血管疾患が関連すると思われる患者の管理に迷うことがしばしばあるのではないのでしょうか？特に下記の 3 疾患につきまして、外来でお困りの場合、是非ともご相談を頂ければ幸いです。

①腹部大動脈瘤

大動脈径が通常の 1.5 倍以上に拡大している状態と定義されています。日本人の正常の大動脈径は 1.5 から 2cm 程ですから、3cm を超える場合は大動脈瘤と診断されます。破裂の危険は瘤の最大短径が 5cm を超えると急激に高まり、手術適応の一般的基準となっております。しかし、拡大速度が急激な例や形状がいびつ（嚢状）な場合も手術適応となります。

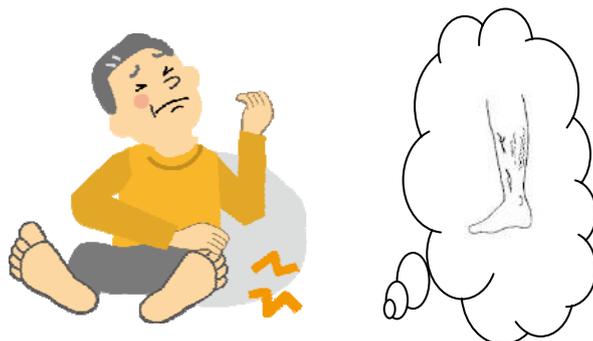
②下肢閉塞性動脈硬化症（ASO）

動脈硬化により下肢の血流が低下した状態です。スクリーニングとして有用なのは、ABI（Ankle Brachial Pressure Index）です。0.9 以下であれば勿論の事、現在は 0.9 以上 1.0 以下の症例に対しても介入が必要とされています。特に安静時痛、下肢の潰瘍、壊死が伴う症例は重症下肢虚血と言われ緊急性の高い病態です。

③下肢静脈瘤

下肢の深部静脈から表在静脈への逆流防止弁が破壊され、表在静脈が拡張する病態です。下肢の静脈が蛇行し、著しく拡張している場合にこの疾患を疑います。静脈の拡張に加え、立位時の下肢の重苦感、夜間に良く足がつる、下肢の皮膚炎、潰瘍がある場合には積極的な手術適応となります。

その他にも、内蔵動脈瘤、末梢動脈瘤、深部静脈血栓症、シャントトラブル等、血管に関する病態にも広く対応しております。少しでも疑問、お悩みがある場合には是非御紹介いただくと幸いです。



《6回シリーズ第4回》¹³¹I 内服による甲状腺癌の治療

放射線治療科長 小原 東也 おばら とうや

これは新しい取り組みというものではなく、従来から行なっている医療機関はありました。ただし、治療の管理のため特殊構造の専用病室を設ける必要があり、これを管理する病棟看護のマンパワーも要求されることになり、その割に収入がない治療でもあるため、この治療の実施体制を持つには専門性の高い放射性物質管理体制を確立することに加え「赤字覚悟」ということになってしまいがちで、一定のニーズがあるにも関わらず実施する医療機関が増えない（取りやめるところもある）ので実施している機関へ過剰な症例集中が起り、極端な場合申し込んでから治療まで2年近くも待たされるという異常な事態も見られることがあります。

このような中、県内での受け皿の確保に重要な意味があるとの判断で、当院には専用病室1室が設置されることとなりました。年間で最大40件の治療が可能です。

ご利用にあたり、患者さんは5日間にわたり病室から外へ出られなくなり、この間は家族だけでなく看護師などの医療スタッフも原則として部屋への立ち入りを避けることとなりますので、この治療を受けるには患者さんが身の回りのことを自分でできる状態であることが条件となり、介護を必要とする人や認知症のある方などは適応外となりますことにご留意ください。（次号は「⁸⁹Sr(ストロンチウム89)を用いた骨転移の疼痛緩和治療」の紹介です）

新任医師紹介

平成24年9月1日以降に着任した医師です。どうぞよろしくお願い申し上げます。



氏名	遠藤 英彦（えんどう ひでひこ）	（10月1日から）
診療科・役名	脳神経外科・第3脳神経外科長	
所属学会	日本脳神経外科学会（専門医）	
ひとこと	がんばりますので宜しくお願いいたします。	



氏名	黒田 博紀（くろだ ひろき）	（9月1日から）
診療科・役名	脳神経外科・医長	
所属学会	日本脳神経外科学会（専門医）	
ひとこと	至らぬ点も多いと思いますが、よろしくお願い致します。	

＝退任医師＝ 脳神経外科 佐々木輝夫(8/30付)・船山雅之(9/30付)・産婦人科 湊敬廣(9/30付)



地域医療福祉連携室からのお願い

◇当院は予約制です◇基本的に外来診療は予約制とさせていただいております。患者さんが予約なしに紹介状をお持ちいただいた場合、長時間お待たせしたり、外来の状況によっては予約を取り直して後日来院いただくこともありますので、お手数をおかけしますが、緊急の方以外はFAXで事前予約のお申込をいただくようご協力をお願いいたします。

岩手県立中部病院 地域医療福祉連携室
〒024-8507 岩手県北上市村崎野17番10号
TEL 0197-71-1511 FAX0197-71-1881（地域連携室専用）
URL <http://www.chubu-hp.com/>

